

Council of Social Welfare

大淀町

えがおで介護
こころのネットワーク
あんじんサポート

社協だより

平成25年
3月号



ちいきの見守り パトロール隊



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下渕1223番地 TEL 0747-52-1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております



～地域福祉活動が必要なわけ～

大淀町の高齢化率は23%を超えており、障害のある人や乳児などを合わせると、日常の見守り活動から災害時に何らかの支援が必要な方はさらに増えます。また、孤独死や虐待といった深刻なケースも後をたちません。とても一部の人だけでは対応できない今、より多くの人が参加した地域での『支え合うネットワーク』が求められています。

支援を必要とする人が地域の中にどれくらいいるのかを把握するなど、地域で支え合える備えや対応が必要となっています。



～地域福祉活動とは～

地域福祉活動は、すべての住民が地域社会を構成する一員として、社会、経済、文化などの機会に参加できることを目標としています。

住民自身が地域の課題を知り、住み慣れた地域で安心して住み続けるためにはどのようにしたらよいのかを、住民の自主的活動に焦点を置いて活動していくことが地域福祉活動といえます。地域の課題の改善を目指して、住民のつながりづくりや日常的な支え合いの活動、活動の担い手づくり、活動しやすい組織づくりなどを地域の状況に合わせて展開していきます。

今、必要とされる地域福祉活動

～地域福祉活動ってなんだろう～

「ふれあい、わかりあい、たすけあい、ささえあい」といった人と人、人と地域を結ぶこれらの「あい」を地域福祉活動の大切な要素とし、だれもが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指しています。

その中で、社協の事業の一つである「ちいきふれあいサロン支援事業」は、住民の方が主体となつた地域福祉活動といえます。ここでは、住民の方自身が地域の課題を知り、活動を通して新たな課題を知ることができるので、さまざまな暮らしの問題について考え方解决问题（地域の福祉力）を高めておられ

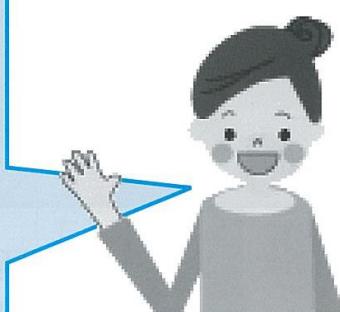
ます。

他にも、地域では様々な場面で活躍されているボランティアさんがたくさんいらっしゃいます。ボランティア活動は地域に役立つと共に、活動する自分自身も豊かしていく力をもっています。

次号では、地域福祉活動の一翼を担っているボランティアについてご紹介します。

～平成24年度の地域福祉係の事業紹介～

- ・ちいきふれあいサロン支援事業
 - ・地域福祉権利擁護事業
 - ・ボランティア活動推進校助成事業
 - ・車いす移動車貸付事業
 - ・ボランティア保険窓口業務
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・共同募金事業
 - ・配食サービス事業
 - ・ホームページ
 - ・社協だより発刊事業
 - ・心配ごと相談など
- 平成25年度には、新たな事業の開拓も計画しています。
- 社協は「当事者や住民の主体性を原動力とした福祉のまちづくり」を使命に地域福祉活動の推進に努めてまいります。



ふれあい活動センター 利用者募集中

毎週、月・木曜日と第1、第3水・金曜日に
ふれあいデイサービスを開催



手芸の風景



新春カルタ大会



お花見の様子

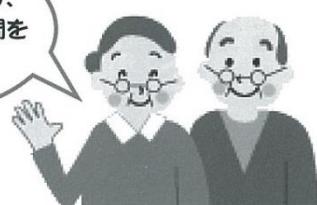


ゲームの風景

ふれあいデイサービスでは、大淀町にお住いのおおむね65歳以上の方を対象に、介護予防を目的とし、体操・手芸・音楽療法などを実施しています。

また、季節に応じて、お花見や敬老会、野外活動などのイベントもおこなっています。

笑つたり、話をしたり、
いつしょに楽しい時間を
過ごしませんか？



【お問い合わせ】
ふれあい活動センター
☎ 0747(54)5533まで

※センター利用については、登録制を導入していますので、事務所へ登録（申請書記入）をお申込みください。

カラオケ教室
土曜日 第2・第4

書道教室
日曜日 第1・第3

パソコン教室
金曜日 第2・第4

各教室のご案内

あんしん メール

～頼れる地域のサポーター～

●糖尿病とは
多くの食べ物には「糖質」が含まれています。それが消化吸収されると「ブドウ糖」になり血液の中に入っています。

これを「血糖」といい、血糖は「インスリン」というホルモンの働きによつて、身体を動かすエネルギー源となつたり、一部は肝臓に蓄えられま

す。インスリンは血液中のブドウ糖が細胞内に取り込まれるのを助ける役

目がありますが、もしインスリンが欠乏したり、うまく働かないと、血糖が増加し、「血糖値」が高くなると人工透析の必

要がある糖尿病性腎症、手足にしびれが現れる等の糖尿病性神経障害。

糖尿病を放つておくとこれらのような恐ろしい合併症に至る危険性があ

ります。

当たはまる項目が多い方は一度受診してみましょ

う。

●なぜ問題なのか?
糖尿病で怖いのは三大合併症です。失明の恐れがある糖尿病性網膜症

悪化すると人工透析の必

要があります。

●一番の予防法は?
糖尿病は生活習慣のバ

ランスが崩れると、「血糖」のバランスも崩れて発症しやすくなります。

つまり、生活習慣を整えることが一番の予防となる

ります。

●あんしんサポートでは
(地域包括支援センター)
「家族介護者教室」や
「出前講座」などでもお

話しますので、お気軽にご相談下さい。



寒さの中にも春の兆しが感じられるようになつてきました。
春になるとなんだかワクワクしますよね。冬眠していた私のことを日々自覚めます。いろんな事にチャレンジしていくみたいです。
(もり)

あとがき



今回は、星の遠鏡会をのぞむお話を天体観測会で開かれます。そこで、やれる活動ボランティアサークル『心の森』代表者の垣下さんを紹介します。

垣下さんは、子供から大人まですべての方を対象に、公民館や広場を利用して「星を見る会(天体観測会)」を開かれています。望遠鏡で星を見ながら、もっと普段の生活の中で自然に目をむけてもらえるように星・天体・宇宙のお話をされています。また、学校や施設や病院へも足を運ばれ、多くの方々に自然の新たな発見や感動を通して、あたたかい心をもってもらいたいと活動されています。

匠のひと言

私たちは忙しい日常に追われて、つい、空を見上げること、自然に目を向けることを忘れてしまいかがちです。空を見上げることで宇宙は広い、自分の悩みはちっぽけだと元気をもらうことができます。自然を感じることで、優しい心・思いやり・あたたかい心をお伝えしていきたいと思っています。

なかで
中出司法書士事務所
大淀町土田二八四一九 ライフ・コーナン横
JA西部支店前
☎〇七四七(五二)六五七七

各種登記のことなら (相談)
(無料)